

# IBCLC としての知識と技術の試験概要

この概要は、試験のために知っておくべき範囲を示したもので、更に熟練した専門家になるために必要な知識を提示しています。例は単にガイダンスにすぎず、学習項目のすべてを網羅しているわけではありません。すべての問題は学科と期間・月齢別区分の要素を持ちます。

## A. 母子の解剖学

(例 乳房、乳首の構造と発達；血液、リンパ、神経、乳房組織；児の口腔内の解剖と反射；評価；解剖学的バリエーション)

## B. 正常な母子の生理学と内分泌学)

(例 ホルモン；母乳分泌；母乳分泌のエンドクリン/オートクリンコントロール；養子の母乳育児；妊孕性；児の肝・腎・膵臓の機能；代謝；補足食の影響；消化と消化管；排泄パターン)

## C. 正常な母子の栄養と生化学)

(例 母乳の産生と組成；母乳の成分とその働き、児への影響；他の製品・人工乳と母乳との比較；授乳パターンと摂取量の経時的変化；母親の食事のバリエーション；儀式的伝統的食品；離乳食の導入)

## D. 母子の免疫学と感染症

(例 抗体と他の免疫因子；交差感染；母乳中の細菌とウイルス；アレルギーと食物過敏；長期的感染予防)

## E. 母子の病理学)

(例 急性/慢性の異常と病気、局所的なものと全身的なもの；乳房と乳首の問題と病理；内分泌病理；母子の身体的、神経学的異常；先天性異常；口腔病理；神経学的未熟性；発育不全；高ビリルビン血症と低血糖)

## F. 母子の薬理学と毒物学

(例 環境汚染；母親の処方薬・市販薬と社会的および娯楽的薬物の使用の児、母乳組成、母乳分泌への影響；母乳分泌促進/抑制薬；陣痛中に使われた薬の影響；避妊薬；補足治療)

## G. 心理学、社会学、人類学

(例 カウンセリングと成人教育技術；悲嘆、産後うつ病と精神病；社会経済学的、母乳育児に関する生活習慣、雇用問題；母子関係；母親の役割への適応；ペアレンティング技術；睡眠パターン；文化的信条と実際；家族；支援組織；ドメスティック・バイオレンス〔家庭内暴力〕；特別なニーズのある母親、例：若年者、移住者 )

## H. 成長パラメーターと発達の指標

(例 胎児と未熟児の成長；母乳哺育児と人工哺育児の成長パターン；児の身体的、心理的、認知的発達の正常と遅れの兆候；12 ヶ月間とそれ以上の母乳哺育行動；乳離れ)

## I. 研究の解釈

(研究文献、母乳コンサルタント教育教材、消費者文化の批判的評価や解釈の技術；研究文献の評価のための批判技術；研究や基本的統計で使われる用語の理解；表やグラフの読解；調査とデータ収集)

## J. 倫理と法的問題

(例 IBLCE 倫理基準；ILCA 臨床基準；職務範囲内での臨床；照会と相互協力関係；守秘義務；医学的法的責任；カルテと報告書の作成技術；記録保持；インフォームド・コンセント；バッテリー；育児放棄と母子虐待のケース；利害関係の衝突；器具レンタル、販売の倫理)

## K. 母乳育児補助器具と技術

(例 母乳育児補助器具とその適切な使用、使用法の技術；母乳の扱いと保存、母乳銀行のプロトコールを含む)

## L. 技術

(例 授乳姿勢と吸いつかせ方、授乳の評価を含む母乳育児技術；母乳育児対処法；正常な授乳パターン；搾乳)

## M. 公衆衛生

(例 母乳育児推進と地域教育；低母乳育児率のグループとの活動；プロトコールの作成と実施；国際的な道具と文書；WHO コード；BFH イニシアチブの実行；流行、調査、研究目的のデータ収集)

## 期間月齢区分

1. 妊娠前
2. 出産前
3. 陣痛/出産 (周産期)
4. 未熟児
5. 日齢
6. 日齢
7. 日齢
8. 月齢
9. 月齢
10. 月齢
11. 月齢 12 ヶ月以上
12. 特定せず

